ほほえみ

笠間市
文化協会
会　報

第22号

発 行 日　2026・令和８年３月１日

編集・発行　笠 間 市 文 化 協 会
発行責任者　会長　枝 川 良 雄
事　務　局　TEL FAX 0296-78-0948

宇都宮ライトライン視察研修会

調布市文化協会との交流研修会

もくじ

○ 第17回You・遊文化スクール報告 ……………………………… 2～3Ｐ
○ 調布市文化協会との交流研修会報告
　視察研修会報告
　加盟団体・会員活動報告 ……………………………… 4～5Ｐ
○ 訪問インタビュー　友部短歌会 ……………………………… 6～7Ｐ
○ イベント情報・編集後記 ……………………………… 8Ｐ

題字　関　紫芳

第17回Ｙｏｕ・遊文化スクール　報告

昨年11月15日（土）、３つの体験教室：「気軽にお茶席」「貝殻絵・水族館&万華鏡つくり」「ジュニア短歌大会」を開催し、市民の皆様とともに主催者側のメンバー共々体験や交流を深め、楽しいひとときを過ごしました。

午後は、3階ホールで「日本舞踊」「民謡民舞」と2つの合唱団の皆さんの美しい「合唱」、「ピアノ演奏」「マーチングドラム演奏」が披露され、会場の皆様とともに感動の時間を共有できました。

気軽にお茶席　茶の湯　表千家　わび茶

お茶席の体験を…と公民館のロビーにお茶席を設けました。主題は掛物で禅語の一部「茶逢知己喫」書家の西澤龍光氏が書いて下さったお軸は「お茶を愛するお客様のすべてを友として歓迎していますよ」の意味で、畳の上でのお手前は緊張と手に残る茶碗の温かみと手触りも楽しみ、また、一服の抹茶の残香を感じて頂けたのではと思います。今は誰もが忙しく楽しむ余裕がなかなかないかと思いますが人とのつながりを大切にしたいと思います。一幅の書を拝見、抹茶を飲み終えると「毎年楽しみにしているのですよ」との一言に一同元気を頂きました。

小春日和のとても穏やかな一日でした。

（貞広　宗可　表千家）

貝殻絵・水族館&万華鏡つくり　映像でわが町をつくる会

茨城シニアマスター・日本貝類学会会員の堤徳郎さんを講師に迎え、貝殻を使った絵や万華鏡つくりの体験会を開催し、皆様にものづくりを楽しんでいただきました。

小学生と保護者、当日参加の方も加えて延べ20組での体験会でした。

講師の助言を得て、それぞれの創意や工夫で貝殻絵「水族館」や「万華鏡」づくりを楽しみ、感動の時間を過ごせました。（枝川　良雄）

ジュニア短歌大会　友部短歌会

「ジュニア短歌大会」は笠間市が合併する前から行われており、通算24回目になる。

当日の参加者は小学生18名、中学生9名、保護者等33名。講師は東京からいらしている友部短歌会の磯田ひさ子先生。スタッフ6名。

今年は9月末の締切前に、友部地区の小・中学校全7校から応募作品が届いた。中学生２４０名、小学生３１８名、応募総数５５８名の詠草が集まり、特選11首、入賞26首、佳作26首を選考する。

歌会は時間の関係上、磯田先生の歌評と作者登場のみだったが、表彰式では拍手の渦の中に立ったジュニアの笑顔に、保護者の方と一緒に私たちも嬉しくなった。

当日テキストとした「入選歌集」から特選の作品をご紹介する。

（松岡　和枝）

みんなでね食べるはずだと歌ってた百人楽しむ歌の裏側
友部中　三年　磯邉　美羽音

また明日走り去る友振り返るさらに遠のく小さな背中
友部中　二年　上條　玄喜

本のにおいかすかに香る図書室ですこし落ち着く私の心
友部二中　二年　桂嶋　帆花

なぜ動くじっとしてくれ点Ｐよテストのさなか頭をかかえ
友部二中　二年　前川　英人

駅でまつ祖父母の笑顔たのしみに電車にゆられ二時間のたび
友部小　五年　松本　莉桜

木更津の花火大会ドキドキだ空いっぱいにマリーゴールド
友部小　五年　所　謙太

夏の海みんなで走る砂浜は足あとが残る思い出の場所
友部二小　六年　石橋　千愛

朝起きて寝ぐせ直さずじょうろ持つ菊に水やりめざめる体
友部二小　六年　鈴木　悠奈

夏休み宿題あせるつの生えるあきら先生おにになるかも
宍戸小　五年　小泉　勇惺

二階からいつも見ている夕焼けはその日その日のわたしのこころ
北川根小　六年　飯村　知里

天井に龍の絵があり鳴き龍だ音を鳴らすと龍鳴き叫ぶ
大原小　六年　小松　俊翔

舞踊の表現　花柳流　太純乃会

毎年、今回はどの様な舞台にしましょうか…で始まる太純乃会。今年は映画「国宝」によって、今まで興味の無かった歌舞伎や日本舞踊を受け入れてくれた人達が増えたように思いました。

映画は絢爛豪華な衣装で踊る姿やけい古をする姿もありました。文化スクールでは、本衣装を身に着けて披露する事より、身体の使い方を重視する事を目標として、同じ衣装を着て、違うジャンルの舞踊の変化と表現を、観客の皆様に見比べていただきたいと思いました。

舞踊は身体の軸を整え、腕や肩で踊らず、目で見ず、全て胸で踊り胸で見る。そして、その時の、意味や状況を体で表現する事が基本の一つです。まだまだ遠い目標ですが、少しでも皆様に美しい表現が届けられたらうれしく思います。

（花柳　太純乃）

民謡合唱・独唱　民謡民舞連合会

民謡民舞として2回目の参加をさせていただき、ありがとう御座いました。

会員一同、毎月発表会の目標に向かって日頃の練習を重ねた結果、今回は合唱及び独唱においても成果が出た様に思いました。特に、三味線二人の音が良かったと思いました。

（悉知　明）

合唱　マーガレット・エコー

You・遊文化スクールの演奏会に参加するのも、今回で3回目となりました。当日は、コーラス以外にもいろいろな団体が参加され、楽しい秋の一日となりました。

私達は「子ども短歌・子ども俳句合唱作品集」より、秋を感じる作品を選び歌いましたが、子ども達の感性は素晴らしく、いつ歌っても心が洗われる気持ちがします。

その他に演奏したのは、秋の定番曲「村祭り」「里の秋」そしてシャンソンを2曲です。シャンソンでは、会場のお客様とともに盛り上がれたと思います。

ご来場いただいた皆様、どうもありがとうございました。（太田　すみ枝）

合唱　女声アンサンブル・萌

「女声アンサンブル・萌」が文化協会に加盟してから、数回、参加させていただいています。

今回は、皆様に耳馴染のある曲を選曲致しました。

「ハナミズキ」「虹と雪のバラード」等。そして、最後に会場の皆様と一緒に「もみじ」を歌いました。皆様の楽しく、明るいお顔を見る事ができ、よかったと思います。

わずかな時間でしたが、私たちもとても楽しいひとときを過ごすことができました。感謝致します。

まさに「芸術の秋」にふさわしい素敵な「ホール演奏会」を体験させて頂き、今後の活動に役立たせたいと思います。

（白澤　照子）

ピアノ独奏

Ｙｏｕ・遊文化スクールへの参加は、今回で3回目となりました。

毎回地元笠間の皆様に自分のピアノを聴いていただけて、そして文化協会の皆さんがこのイベントを大切に作っていらっしゃるということが毎回伝わってきて、あたたかい皆様に助けていただき本当に感謝でいっぱいです。自分自身も更に頑張ろうという気持ちになりました。

地域の文化は、「演者」だけでなく、コンサートや展示会などのイベントの「場を作る人」や、イベントが開かれる会場そのものを日々「運営している人」、そしてその土地に住んで文化に親しんでくださる「お客様」など、たくさんの人が文化を大切に暮らしていく事で続いていくのだろうと改めて感じる機会となりました。

この先も、芸術の街・笠間としてそういった活動が大切に続いていってほしいなと願っております。

（小林　萌里）

マーチングドラム演奏　ブラザービーツ

２０２５年は笠間市合併20周年記念ということで関連イベントへの出演が特に多い年となりました。20周年記念イベントや新栗まつり・笠間ライブラリーパークに私たちは参加させて頂きましたが、どれもこれも活気あふれるイベントで本当に胸が熱くなりました。

文化協会においても私たちは2年ぶりにYou・遊文化スクールの演奏会に出演させて頂きました。

様々な伝統芸能を拝見し、皆さんの「この文化を守りそして広げていこう」という熱い気持ちをたくさん感じる日となりました。

あっという間に1年が経ってしまいましたが、少しでも私たちの活動が地元に貢献し続けられるよう今後も精一杯活動していきます！

調布市文化協会の皆様との交流研修会

６月18日、調布市文化協会の皆さんを友部公民館にお招きし、交流する機会に恵まれました。総勢四十二名に及ぶ参加でした。

公民館へ来る前に稲荷神社へ参詣されたとのことで、大変活動的な様子に驚かされました。

最初に笠間市文化協会の活動について、枝川会長より説明があり、各団体の自己紹介と続きました。

その後調布市文化協会側から活動内容を兼ねた自己紹介が行われ、意見交換へと移りました。

調布市文化協会にはさまざまな団体があり、多くの事業を実施していることを知りました。発言する皆さんの溌剌とした姿に刺激を受けると同時に、地域に根ざした活動とは何かを学ぶことができました。

質疑応答の折に、所属している短歌会の活動についてのお尋ねがあったのは嬉しいことでした。

それぞれの地域には、独自の文化があります。他者を知ることで、より深い文化が醸成されるのではないでしょうか。

今回、改めて笠間の特性について考え、新たな視点を持つことができたように思っています。

帰り際、調布市の参加者の一人から「お互いに頑張りましょう。」と声をかけてもらったことが印象に残っています。交流の原点は互いを知り、楽しむことだと気づかされました。

交流会を終えた後、「道の駅かさま」へ向かうとのこと。笠間を存分に楽しんでいただきたいと願いつつ、バスに乗る皆さんを見送りました。

いつの日か調布市を訪れてみたいという気持ちを今も抱いています。

（友部短歌会　小林加奈恵）

わび茶の皆様に、お菓子と抹茶の接待をいただきました。

感謝申し上げます。

宇都宮ＬＲＴライトライン視察研修会

令和７年２月26日に研修先を宇都宮ライトライン見学ツアー（座学＋乗車）として、25名参加のもと実施されました。

ライトライン見学の前に、宇都宮の中部に鎮座する二荒山神社に参拝し、その後近隣にある宇都宮餃子が楽しめる「来らっせ本店」に移動し、少し早い昼食をとりました。日替わりで色々な餃子が楽しめる店が営業しており、お店選びに苦労しました。

その後、ライトラインの発着場であるＪＲ宇都宮駅東側に向かい、ライトキューブ宇都宮の小会議室にて、市の担当者による座学に臨みました。

座学では人口50万人の宇都宮市も、人口減少や少子高齢化が進み、脱炭素社会への移行に対応するには、ネットワーク型コンパクトシティーを目指すべきとなり、鉄道やバス等の地域内公共交通機関の整備が必要との説明がありました。

ライトラインは、全国初の全線新設による本格的なＬＲＴとして宇都宮市が主体となり、平成４年頃から調査検討が始まり、走行ルートの選定や需要予測等を積み重ね、ホンダなどが創業している芳賀工業団地が立地する芳賀町との共同事業となり、平成30年６月に着工し令和５年８月に開業を迎える事が出来たとの事でした。

開業効果としては、沿線人口が増加し地価も今までの中心部である駅西側を上回ったそうです。

今後も市役所や県庁のある駅西側への延伸を計画しており、東武宇都宮線への乗り入れや大谷石で有名な大谷方面への延伸も検討しているとの事でした。

座学も終わり、いよいよ乗車です。一編成は３輌で、運賃支払は交通系ＩＣカードを利用したセルフ乗車方式です。料金は距離制ですが、以前同区間を走っていたバス料金よりは安くなっているそうです。車輌は低床設計で段差がなく、又騒音や振動も少なく、乗り心地はいいです。

運行ダイヤは、新幹線の始発・最終電車に間に合う様に組まれており、日中も10分間隔で運行し、いつ行ってもそれ程待たずに乗れる為、通勤通学は勿論買い物や通院等市民の足として利用されています。

宇都宮市が都市再生の為に取り組んだライトラインが、今後どの様に発展進化していくのか、注視していきたいと思います。

（佐々木哲夫）

その後、１月に開館した「真岡市複合交流拠点施設」を見学しました。子どもから高齢者までみんなが集い、市民の居場所になるよう図書館・子育て支援センター・子ども広場・地域交流センターを併設した大規模な施設でした。

《加盟団体・会員活動報告》

ピアニスト　小林萌里

4月27日（日）
森のカフェさりょう
サックスとピアノの夕べ

5月9日（金）
地域交流センターともべ
箏・十七弦　ピアノ

5月10日（土）
かさま歴史交流館井筒屋
シャンソンと民話

6月15日（日）
かさま歴史交流館井筒屋
箏とピアノ　初夏の詩

7月11日（金）
地域交流センターともべ
ヴァイオリン　ピアノ

7月27日（日）
かさま歴史交流館井筒屋
やなせたかしの世界

8月10日（土）
かさま歴史交流館井筒屋
坂本九没後40年記念コンサート

9月27日（土）
かさま歴史交流館井筒屋
怪談５　小泉八雲特集

10月13日（祝・月）
ガラジ

10月25日（土）
森のカフェさりょう
３つの音が重なるとき

1月25日（日）
かさま歴史交流館井筒屋
琵琶とピアノで伝える蚕のお話

2月9日（火）～3月10日（水）

県内各地６会場
革命のアルゼンチンタンゴコンサート

3月1日（日）
かさま歴史交流館井筒屋
箏・尺八・ピアノ

3月13日（金）
地域交流センターともべ
モーニングシャンソンコンサート

マーチングドラムデュオ Brother Beats（ブラザービーツ）

（笠間市特別観光大使）

7月20日（日）

笠間芸術の森公園
野外コンサート広場
合併20周年記念イベント

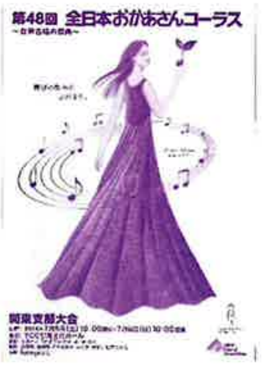
10月3日（金）～5日（日）
芸術の森公園
新栗まつり

10月18・19日（土・日）
笠間図書館
行こう！カサマライブラリーパーク

11月15日（土）
友部公民館大ホール
You・遊文化スクール演奏会

女声合唱団コール・ポプリ

7月5日（土）～



山梨県 YCC 県民文化ホール

マーガレット・エコー

新春コンサート　愛を歌う
1月30日（金）
岩間公民館

日本舞踊　太純之会

10月19日（日）
日本舞踊各流大会
（令和７年度茨城県芸術祭）

県立県民文化センター
ザ・ヒロサワシティ会館

映像でわが町をつくる会

（図書館で貸出中。）

- 「第16回Ｙｏｕ・遊文化スクール」36分
- 「第16回Ｙｏｕ・遊文化スクール演奏会」1時間45分
- 「歴史探訪　北川根の歴史を知る学習会」社協北川根支部　1時間55分
- 「笠間の民話がたり」～ひとつきいてくだされ～　1時間18分
- 「歴史探訪　赤穂義士パレード」～笠間と忠臣蔵～　28分
- 「地域おこし協力隊と歩く　宍戸まちあるき」～いにしえの宍戸のおもかげを訪ねる～　12分
- 「地域おこし協力隊と歩く　岩間まちあるき」～民話の舞台を訪ねて～　1時間7分

友部短歌会 訪問インタビュー

結成45年の活動を続ける「友部短歌会」を訪ねて、お話しを伺いました。（取材1月）

（短歌会　磯田・深井・大木・松岡・浅野）

（文化協会　枝川・悉知・今井・西山・安達・小黒）

―団体紹介・活動の経緯

１９８１・Ｓ56「歌と観照」主宰の三鬼実氏の移住と活動を期に「第1回友部町民まつり短歌大会」開催

１９８２・Ｓ57「友部町民短歌会」結成（初代代表三鬼実氏）

「合同歌集第1号」発行

２００２・Ｈ14「第1回子ども短歌大会」開催（第1回ゆう・友文化スクール・友部町文化協会発足20周年記念事業、子ども俳句大会、体験型イベント開催）

２００６・Ｈ18　市町合併により「友部短歌会」に改称　現在会員19名（男3、女16）

現在の講師は、磯田ひさ子氏（東京在住、茨城県出身。「地中海」所属の歌人。茨城が大好き、常磐線も大好き。趣味は旅行、書道。著書書に歌集『ヒヤシンス』など多数。

現代表は、深井雅子氏（茨城新聞のハイスクール短歌選者・ＮＨＫ文化センター短歌講師など。）

＊参照「友部短歌会のあゆみ」

―特徴的な活動は？

☆毎年発行の「友部短歌会合同歌集」は、会の字を入れず、会員以外の歌も掲載している。

磯田先生曰く…10年に1冊でも珍しいほど難しいことだが、毎年発行しているのは深井さんの力に他ならないです。

☆歌会は「友部方式」と呼ぶ独自の進め方をしている。「作者登場」という磯田先生のアイデアで、歌評の後、作者に想いを語ってもらい、その人の心を伝えることのできる歌にしていく。遣り取りが大切。これによって作者は満足感を得るし、他の会員達にも勉強になります。

磯田先生曰く…従来のやり方では人が育たない。楽しくなければ意味がありません。

☆ジュニア短歌大会の開催。Ｙｏｕ・遊文化スクールに第1回より通算24回参加している。

―先生・会員にお聞きしました。

磯田先生

30年以上の介護生活で、活躍の機会を生かすことができないこともあった。そんな中でも年をとった時の自分のために短歌を作り続けてきた。

介護から解放されたら空虚感が有った。

当時代表だった磯野さんからのオファーを受けて友部短歌会に来てみた。「あなたでなければできない歌を作る」ことや、のちに始めた「作者登場」などでひとりひとりが内面から変わってきた。今は和やかな中にも素晴らしい活動をしている、私のかかわっている中で一番の短歌会だと思っている。

仕事・子育て・介護など、忙しくても何かやっていることが歌の糧となる。

◎介護や仕事を終わった後の喪失感が、入会前に合同歌集に載せていただいたら和らいだ。今では先生の「幸せになるために短歌を作るのよ」と言われた言葉がわかる。日常の暮らしの中で、思いを込めて短歌を作る。

◎仕事に家事にと忙しさに追われていたが、短歌を始めたら一つ言葉を覚えるたびに小さな物事が違って見えるようになってきたことがうれしかったので続けています。

和やかな中で歌会が進められている。何気ない日常の気づきがあり、豊かな気持ちになる。

◎月に6首のノルマがきつかったです。入会当時は40代で、フルタイムの仕事と家庭のことで深夜にしか自分の時間がとれなかった。

今は余裕ができたので、年齢差のある会員の中で短歌を通して学んでいる。

深井代表

磯田先生は歌壇で名の知られた歌人にもかかわらずそれぞれに優しく接してくださり、誰もがのびのびと本来の自分のままで短歌を楽しめるように導いて下さいます。平成24年に磯田先生を友部に連れてきてくださった磯野はるのさんはまさに功労者です。

友部短歌会は全国的に見ても、新しい風が吹き込んでいる短歌会だと自負しています。

―活動の広がり・今後について？

１２００年前から続く短歌の歴史だが、守るだけではいけない。

五七五七七は制服であるが、それを守りながら新しい試みを取り込んでいくことが未来につながると思える。

「合同歌集」を通して会員以外の人たちとの交流を図りたい。

「ジュニア短歌大会」を今後も続けて、次世代の文化継承者を育てたいと思います。

磯田先生曰く、活動で生まれた作品が「短歌研究」誌や「現代短歌新聞」などの総合誌に載ることは名誉であり目標です。「あなたにしかできない歌」を作って行けば、いつまでも和気あいあいとした、今を幸せと感じる人の集まりであり続けるでしょう。

―何かの活動を始めたい、続けたい方へ助言を？

始める動機はいろいろだが、何でもよいので興味を持って楽しく活動する。楽しくなければ意味がないし続きません。

短歌の良いところは、日本語さえできれば誰にでも作れる。日常のなにげない営みを詠んで良い。歌会で意見交換をして気づきを得ると、1人でも楽しいが大勢でも楽しい。敷居が高いと言うことはありませんよ。

友部短歌会のあゆみ

	年	月	摘要	備考
昭和	56	11	第1回　友部町民祭り短歌大会（3日）	以来、毎年文化の日に短歌大会を開催し現在に至る（本年度は第45回）
	57		「友部町民短歌会」を結成	結成以来44年間、毎月例会を行い、現在に至る
			代表　三鬼　実	初代　代表　・「歌と観照」主宰（当時） この年に「歌と観照」茨城支社（現在の支部にあたる）が発足（支社長　添谷武男）し、本会員の多くが入社。
		11	第2回　友部町民短歌大会（3日） 合同歌集　第1号　発行（3日）	以来毎年、本会員並びに賛助出詠者による合同歌集を、文化の日に発行し、現在に至る。（本号で第44号）
	59	11	三鬼　実　歌碑建立（18日）	友部　北山公園
	60	8	三鬼　実　逝去（31日）	
		10	代表　多田公之助	第2代　代表
	63	4	代表　添谷武男	第3代　代表 この時、添谷武男は「歌と観照」茨城支部長であった。これ以来、本会代表と「歌と観照」茨城支部長は兼任することが慣例となる。必ずしも本会会員全員が「歌と観照」に所属しているわけではないが、歴史的・地域的経緯により、その慣例で現在に至る。
平成	4	2	副代表　おぎつあきら　逝去（8日）	本会結成の功労者であった。
	14	4	代表　大図清隆 講師　添谷武男	第4代　代表 初代　講師
		11	ゆう・友文化スクール 第1回　子ども短歌大会	友部町文化協会　主催
	15	6	添谷武男「歌と観照」代表となる	
	18	4	代表　磯野はるの	第5代　代表
		11	第26回　市民短歌大会	合併により笠間市となり、大会の名称を変更。本会も「友部町民短歌会」から「友部短歌会」に名称変更。
	20	11	国民文化祭（短歌）に6名参加（9日） You・遊文化スクール 第1回　子ども短歌大会	常総市にて 文化協会合併により、名称が変更され第1回となる。（通算第7回目）平成29年度から「子ども短歌会」は「ジュニア短歌大会」に改称。
	22	8	講師（元代表）添谷武男　逝去（14日） 講師　大図清隆	第2代　講師
	24	5	講師　磯田ひさ子	第3代　講師
	25	4	代表　深井雅子	第6代　代表
令和	2	11	第40回　市民短歌大会（中止） 第13回　ジュニア短歌大会（中止）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 以降令和4年まで（3年間）両大会は中止
	7	11	第45回　市民短歌大会 第17回　You・遊文化スクール　ジュニア短歌大会	

《これからイベント情報》

ピアニスト　小林萌里

かさま歴史交流館（井筒屋）や地域交流センターともべ（トモア）での演奏会など、地元に音楽が根付く活動を各地で開催予定です。是非、ご参加ください。

３つの音が重なるときⅡ
５月30日（土）18：00～

森のカフェさりょう

茨城の演奏家による演奏会企画
６月28日（日）15：00～
水戸芸術館

大中恩作品演奏会
８月30日（日）
森のカフェさりょう

マーチングドラムデュオ Brother Beats（ブラザービーツ）

笠間市の特別観光大使で、各地のイベントなどで活躍中です。機会を見つけて、是非お出かけください。

IBARAKI DREAM LAND
海　６月（予定）
阿字ヶ浦海岸
森　10月（予定）
笠間芸術の森公園

（昨年の案内）
©安達勇人オフィシャルサイト

第80回茨城県合唱祭
６月14日（日）
牛久市中央生涯学習センター・文化ホール

笠間市民合唱団第25回定期演奏会
６月21日（日）
笠間公民館　大ホール
・久石譲　作品「ジブリの世界」など

ひまわりコーラス 50周年記念コンサート
６月28日（日）
笠間公民館大ホール
・詩人金子みすゞ作品
・昭和歌謡曲など

女声アンサンブル・萌 30周年 第８回ホームコンサート
10月18日（日）
笠間公民館　大ホール
・信長高富　作品
・ユーミン「オールディーズメドレー」など

編集後記

６月に「調布市文化協会」の皆様をお迎えして交流研修会の機会を得ました。１９６６・S41年発足の協会は、「調布町文化会」がS23年から、市制施行のS30年から「調布市文化会」の系譜を持ち、長い歴史の中で育まれ、様々な立場の方々の協力のもと発展してきた活動の様子を伺うことができました。

宇都宮市では、少子化や高齢化の中で、地域の公共交通機関の整備が通学や通勤も含め市民生活に益々重要な意味を持つことを学びました。

真岡市では、公共施設の複合化が進む中で、それぞれの施設の持つ機能を十分に果たせるためのあり方について見学させていただきました。

「You・遊文化スクール」は、皆様のご協力をいただき開催できました。会員の皆様と市民とともに、様々な機会を通して活動の継続ができますよう願っております。

午前の体験教室を担当の皆様、午後の発表・演奏会に出演の皆様、市民の皆様とともに、感動の時間をいただきました。ありがとうございました。　（枝川良雄）